

富山市定例市長記者会見（令和5年1月4日）

■冒頭

市長

皆さん、明けましておめでとうございます。旧年中はいろいろとお世話になり、ありがとうございました。本年も引き続きよろしくお願いいたします。

まず初めに、令和5年の年頭にあたり、今年の抱負を申し上げます。

私が市長に就任してから、本年4月で3年目を迎えることとなります。言わば、任期の折り返しを迎えることとなります。この2年弱を振り返りますと、就任後、まずは、市が抱える課題をしっかりと把握しようと努めてまいりました。その上で、公約である「幸せ日本一とやま」の実現に資する事業について、順次、着手してきたところであります。

残りの任期につきましては、それぞれの事業を着実に推進し、市民の皆さまに、私がこれまで取り組んできた施策の成果を実感いただける段階にしたいと考えております。これまでの取組をより具体化、そして加速化させてまいりたいと考えております。

これから来年度予算編成作業が本格化するため、現時点でお話できることは限られますが、重点的に取り組みたい施策としては、常に申し上げておりますが、スマートシティの推進であります。

これは、私が市長に就任して以来、いち早く取り組んできた施策であり、今般、このスマートシティ政策を強力に推進していくための方向性を示した「富山市スマートシティ推進ビジョン」を産学官民の協働、連携によって策定したところであります。

来年度当初予算編成においては、「富山市スマートシティ推進ビジョン

特別枠」を設けております。各部局からどのような提案が出てくるのか楽しみにしているところでもあります。このたび策定したビジョンを踏まえ、市民の皆さまに効果を実感していただけるものを最優先に（事業を）実施してまいりたいと考えております。

また、コロナ対策につきましては、引き続きしっかりと取り組み、感染拡大防止と社会経済活動の両輪を回していくことに努めたいと思います。（また、）ウクライナ危機に端を発する物価高騰への対応についても、市民の皆さまに（とって）は切実な生活に直結する燃料高、原材料高、製品高などを含めて大きな影響がありますので、こちらの方もしっかりと市民の皆さまの暮らしを守る立場で、取り組んでまいりたいと思います。

そして、本年5月には、「G7富山・金沢教育大臣会合」が、（富山・石川の）両県共同開催となります。本市の魅力を国内外にPRできる絶好の機会でありますので、富山の充実した教育活動に加え、本市がこれまで取り組んできたコンパクトシティ政策やSDGs未来都市としての取組についても国内外に発信してまいりたいと考えております。引き続き、富山・石川両県、金沢市としっかりと連携しながら、情報交換を密にして、開催までの準備に万全を期して取り組んでまいりたいと考えております。

このほか、学校再編や市町村合併の検証を踏まえた施策の展開なども非常に重要だと考えております。さまざまな取組を進めていく必要がありますが、その推進にあたっては、万全な準備も大切でありますので、今一度、足元をしっかりと固めた上で、施策を展開してまいりたいと考えております。

私自身としましても任期の折り返しを迎える年になりますが、今一度、原点回帰の気持ちを持ちながら、私の政治姿勢であります「市民重視」「現場重視」「スピード重視」で市民の皆さまに寄り添いながら仕事を進めてまいりたいと考えております。

今年1年、よろしく申し上げます。

■報告事項（新型コロナウイルス感染症関係）

市長

県内の新型コロナウイルスの感染状況については、感染者数、入院者数ともに高い水準で推移しております。

また、インフルエンザも流行期に入っており、発熱外来が非常に^{ひっばく}逼迫した状況となっております。

市民の皆さまには、これ以上の感染拡大を防ぐためにも、こまめな換気、体調不良時には外出を控えること、会食時の換気、ソーシャルディスタンスをしっかりとる、パーティションを設ける、手指の消毒など、基本的な感染防止対策を徹底していただきたいと思います。

オミクロン株対応ワクチン、インフルエンザワクチンの接種がお済みでない方がまだ相当数いらっしゃると思いますので、できれば早めの接種をご検討いただき、接種していただきたいと思います。

また、発熱外来を速やかに受診できない場合に備えて、ご自身で感染確認ができる新型コロナ抗原検査キットと自宅（療養）に必要な解熱鎮痛薬や最低限の食料品などの備蓄準備をお願いしたいと思います。

次に、新型コロナウイルスワクチンの接種についてご報告いたします。

本市における、接種状況につきましては、お手元の資料のとおりですが、オミクロン株対応ワクチンを接種された方は 1 月 3 日現在で 147,386 人、全人口に対する接種率は 35.6%となっております。

さて、新型コロナウイルスワクチンの接種につきましては、現在のところ、国が定める臨時接種の期間が本年 3 月末までとされております。

このことから、1 月以降、少なくとも 3 月末までは、無料で接種を受けることが可能となっておりますので、オミクロン株対応ワクチンはもとより、小児や乳幼児の接種につきましても、未接種の方は接種をご検討いただきますようお願いいたします。

なお、4月以降の接種につきましては、国において対象者や時期、ワクチンの種類などを検討されておりますので、本市といたしましては、国の動向を注視しながら、迅速に対応できるよう確実に準備を進めてまいりたいと考えております

私からは、以上です。

■ 質疑応答

記者

12月に市内の保育園で不適切な保育が判明しました。このことについて、市長の受け止めをお聞かせください。

また、市は9月に問題を把握したとのことですが、公表しなかった理由は何ですか。

加えて、再発防止に向けた市の点検体制を教えてください。

市長

本市では、これまで、妊娠、出産から乳幼児、青少年に至るまで、切れ目のない子育て支援を推進してきたところであります。

このような中、市内の認定こども園「本郷町保育園」において、不適切な保育が行われるといった事案が発生したことについては、誠に遺憾であります。市民の皆様にご心配をおかけしたことを受けまして、市立、私立施設、認可外施設も含めまして、指導を徹底してまいりたいと考えております。

本件の経過につきましては、昨年9月8日に、本市に「本郷町保育園」での不適切な保育についての情報提供があり、翌9日に警察に相談いたしました。

同日、警察から捜査を開始する旨の連絡があったことから、警察の捜査に支障が生じないよう市の調査や提供された情報の公表を控えることと

しました。

その後、警察と調整し 12 月 2 日に市による立入調査、13 日に特別監査を実施したところであります。

今後、特別監査の結果を踏まえ、行政指導などの対応について検討してまいります。

再発防止策につきましては、12 月 8 日に市内全保育施設に対し虐待や不適切保育の防止などについて通知したほか、市立保育所などへは 12 月 15 日に所長研修の場において注意喚起を行いました。

さらに、12 月 26 日には市内全保育施設の園長、所長などを対象とした子どもの人権擁護に関する研修会を開催したところであります。

加えて、現在改定しております「富山市保育所保育のガイドライン・チェックリスト」を年度内に各施設に配布し、今一度保育の在り方を点検していただきます。この他、市職員による巡回訪問の際に子どもの権利と人権擁護についての意識啓発を行うなど、安全、安心な保育の確保に取り組んでまいります。

なお、虐待は決して許されるものではなく、あってはならないことでもあります。不適切な保育が疑われる事案を把握した場合には、警察への相談も含め迅速な対応に努めてまいりたいと思います。

以上です。

記者

今年、重点施策に掲げられたスマートシティの推進について、指針となるビジョンを策定されましたが、これをどのように市民と共有して、浸透させていくかということも大事になってくると思います。今後何か考えていることがあればお聞かせください。

市長

一つは市のホームページ（による発信）、二つは SNS などのプッシュ型の発信、三つはポスターなどの制作、あるいは広報とやまを使った啓発（が

あります)。現在、皆さんにわかりやすくイメージが湧くように、スマートシティ推進のロゴやデザインなども含めて（検討中です）。見た瞬間に、こんなことで便利になっていくのか、こういうイメージなんだ、ということが皆さんにわかりやすいデザインとなるよう、啓発ツールの作成などに取り組んでいるところであります。

もちろん報道関係の皆さんにもご協力いただきたいと思いますと考えております。

記者

県では成長戦略のビジョンセッションなども行っていますが。

市長

何かそのような機会も設けて、企業の方や団体の方、大学の方、市民の方々も含めて、すべて（の方）が主役ですので、そのような方々といろいろな意見交換をしたり、今後の方向性、ベクトルを合わせていくというような作業も具体的にリアル、オンライン含めて行っていきたいと考えています。

記者

先ほどの市長のあいさつの中で、現在、折り返し地点にきているというお話がありましたが、この2年間の市長の成果について、どのようにお考えですか。

市長

一つに、やはり一番大きかったのは新型コロナウイルス感染拡大防止対策です。市民の皆さんにも大変協力いただきましたし、報道関係の皆さんにも毎日のように啓発活動を行っていただきました。

おかげさまで、ようやく経済活動も一緒に回していくというフェーズまで来たと思っています。（コロナ禍も）もう3年になり、私が就任してから2年弱ということ（ですが）、新型コロナウイルスワクチン接種も含めて一生懸命取り組んで来られたのではないかと（思います）。また、それに企業や団体、市民の皆さんにも協力いただいて、ワクチン接種が進んだと思っております。

もう一つは、スマートシティ推進ビジョン（です）。スマートシティの推進ということを選挙公約に掲げて当選した私であります。スマートシティ推進に関しましては、私が就任した時点で、例えばセンサーネットワークを市内全域に張りめぐらす先進的な取組や、その他にいくつものスマートシティに関連するような事業をすでに富山市では先進的に行っていたわけではありますが、それからさらに日進月歩さまざまなデジタルツール（の開発）が進んでいきますし、そういうものも加味して、いくつかのその（スマートシティ推進の）種をまいてこられたのではないかと思います。

スマートシティを推進していくにあたって、やはり細かくそのエリアに合った、そのシチュエーションに合った事業や実証実験を積み重ねるということは非常に大事なんですね。その一方で、全部がバラバラになっては困るので、今回とりまとめたスマートシティ推進ビジョン、全員が一緒の方向を向いていくためのビジョンをしっかりと作成するというのは非常に大事だと思っていましたので、2年かかりましたが、ビジョンをしっかりと示せるということは非常に成果があったのではないかと考えています。

もう一つは、平成の大合併から17年、そして18年経とうというところまでできています。これをしっかりと1回立ち止まって検証する。どういうところが良くなって、どういうところが足らざる点かということを検証しながら、市内の一層の融和に向けて、次の一手、施策を打ち出していくということが非常に大事だと思っていましたので、合併検証ができたということも一つの成果であったと（思います）。

ただ本当の成果は、その合併検証の結果をどう次に生かしていくのか、その（生かした）結果どうなったかということが本当の成果ですので、その足掛かりができたと思っています。

（また、）富山市ホームページのリニューアル、わかりやすい情報発信というのも私の一つの公約ですので、これも2年間ぐらいかかりました。あるいはSNSのプッシュ型の発信というのも、かなり盛んになってきました。それでもまだ市民の皆さんになかなか情報が伝わりにくいという方もいらっしゃいますので、どのような方々にどのようなツールを使えば、情報をわかりやすく正確に発信でき、キャッチしていただけるのかというこ

とも研究しながら、これからも情報発信に努めてまいりたいと思っています。

あともう一つは、やはり（小、中）学校の再編です。これはいずれ誰かがやらなければならないことなので、全市的な議論にさせていただいたというのは、教育委員会が英断されたことであり、我々が後押しをするということでもあるのですが、協力して良い議論ができているのではないかと考えています。

具体的な動きも地域では見られていますし、さらに具体的な動きがいくつか出てくるということも聞いていますので、私たちが教育委員会をしっかりとサポートして、協力しながら、地域にとって良い形になるように進めてまいりたいと思っています。

記者

（本郷町）保育園の件で伺います。（先ほどの話の中で）今後の対応については警察に速やかに相談することを踏まえてということでしたが、今回、一昨年の12月の通報時は市の職員で聞き取りを行われました。警察への相談と市の職員での対応とで曖昧になっている面がありますが、市長はどのようにお考えですか。

市長

最初（の通報は）、一昨年の12月になります。その時は市が聞き取り調査に入っています。（聞き取りは）園長が主であります。現在の保育状況であるとか、通報内容には不適切さが見られましたので、それに関してこういうことがあるのかないのかという事実関係を確認しました。

園長からの報告では、「当園ではそういう事案はない」というような聞き取り調査の結果でありましたので、「園の様子をしっかりと確認するようにしてください」というレベルでの（指導を行い、）（園からは）「これから管理をしていきます」というような話もあったと聞いております。その時は、（不適切な保育が）ないのであればそれで良いけど、絶対起きないよということなので、その時の調査を終えたと報告を受けています。

今回はさすがに2回（目で）ありましたので、市としては前回と一緒のような調査というわけにはいかないだろうということで、しかも通報の内容は報道でもあるように、腕を（強く）引っ張るだとか、暗い物置に閉じ込めるだとか、棒でつつくだとか、そういう具体的なものもありましたので、これは警察に相談する事案だと判断して、今回の警察の捜査ということになったということでもあります。

捜査が終わって書類送検（となりましたが）、その捜査などが終わるまで、市（として）は、それに影響が出ないようにその結果を待っていたわけです。（そして）その結果が出て、警察とも相談しながら、市としての調査に入ったということでもあります。

市としての聞き取り調査でありますので、その他の職員などからも詳細に聞き取りをしながら、（結果として）問題ありということでありましたので、現在、調査の詳細を取りまとめて、今後どのように行政としての処分なり、行政指導なりを行っていくかということを検討中です。

記者

調査結果を取りまとめて行政処分などを検討していくということですが、（行政処分などの）時期的な目途はありますか。

市長

現在、調査（結果を）取りまとめ中なので（未定です）。

※発言内容を一部整理して掲載しています。・・・富山市広報課